

1 研究の概要

(1) 研究主題

佐賀県小・中学校学習状況調査から見える

課題の解決に向けた中学校社会科の授業改善

(2) 主題設定の趣旨

平成26年度佐賀県小・中学校学習状況調査(中学校社会科)では、「資料活用の技能」は、「おおむね達成」の基準を上回っているものの、「社会的な思考力・判断力・表現力」と「社会的事象についての知識・理解」には課題が見られました。平成27年度には改善が見られ、全ての評価の観点で「おおむね達成」の基準を上回りましたが、中学校社会科において、社会的な思考力・判断力・表現力を育成するとともに、基礎的・基本的な知識や概念を身に付けさせ、学習内容の理解や認識の深まりを図ることが引き続き求められています。

中学校社会科において課題が見られる「社会的な思考力・判断力・表現力」を育成するために、中学校学習指導要領解説社会編では、言語活動に関わる学習を充実させ、社会的な見方や考え方を養うように述べています。また、「社会的事象についての知識・理解」についても、中単元や小単元において基本的な事項・事柄を厳選し、内容を構成し直すなどの工夫をして、言語活動を充実させ基本的な内容が確実に身に付くよう指導するように述べています。そのために、適切な課題を設けて行う学習の充実を図り、単元を通して学習指導を計画していくことが必要になります。

そこで、本研究では、単元において、学習指導要領で示された内容を再構成し、適切な課題を設けて行う学習の充実を図るため、「意思決定を取り入れた討論型の学習」を基にした単元づくりを提案します。これにより、生徒が多面的・多角的に考察し公正に判断するとともに、適切に表現する能力と態度を育て、基礎的・基本的な知識、概念や技能を身に付けさせることができると考えています。

(3) 研究の目標

中学校社会科における思考力・判断力・表現力の育成と基礎的・基本的な知識や概念の定着を目指し、意思決定を取り入れた討論型の学習を基にした授業改善策を探る。

(4) 研究の方法

- ・学習状況調査の結果を基に、中学校社会科の課題を洗い出しました。
- ・社会科における「問題解決的な学習」及び「意思決定を取り入れた討論型の学習」を基にした単元づくりについて理論研究を行いました。
- ・課題解決を図った授業改善について公開授業を実施し、よりよい学習指導の在り方を探りました。